



笠原小学校創立150周年

支えてきた150年 未来へ向かって200年

浅羽学園 袋井市立笠原小学校 学校だより 令和5年11月13日

## 11月会礼の話

皆さんは、昨日の夕ご飯のおかずは何だったか覚えていますか。覚えている人は手を挙げてください。皆さん、手が挙がりますね。おとといの夕食のおかずはどうでしょう。覚えている人は手をあげましょう。ちょっと減ったかもしれませんが、それでも多くの人が覚えています。では、1週間前のおかずを聞かれたら、なかなか思い出せないと思います。さらに、1か月前のおかずを聞かれたら、もうすっかり忘れてしまっていることでしょうか。このように私たちは、一度覚えたことでも、時間がたつと忘れてしまうのです。なぜ忘れてしまうのでしょうか。いろいろと説はあるようですが、簡単にいうと、私たちの頭には、毎日毎日新しい情報が入ってくるので、古い情報を残しておく、頭がパンクしてしまうからです。ですから、忘れるということは、頭がパンクしないための大切な仕組みなのです。



しかし、おかずのことならまだしも、勉強のことならどうでしょう。せっかく授業で学んだことを、時間とともに忘れてしまったら困ってしまいます。実際に、皆さんは国語や算数の学習をして、毎日新しい情報を頭に入れていきます。例えば、1年生の皆さんも漢字の学習を始めたと思いますが、新しい漢字を覚えるたびに、前に覚えた漢字を忘れてしまったら困りますね。実際に、小学校卒業までに、1年生80字、2年生160字、3年生200字、4年生200字、5年生185字、6年生181字の合計1006字の漢字を学習します。では、2年生で160字の漢字を覚えたら、1年生で習った80字を忘れてしまうのでしょうか。そんなことはないと思います。中にはいくつか忘れてしまう漢字があるかもしれませんが、新しい漢字を習っても、それまでに習ったほとんどの漢字は覚えていると思います。

このことは、皆さんの頭、言い換えれば脳が覚えることのできる量がとても多いということもありますが、それよりも、皆さんが漢字の書き取りをしたり、作文で習った漢字を使ったりすることで何度も覚え直しているからだと考えられます。算数でも同じように、掛け算九九を習ったとたんに足し算や引き算のやり方を忘れてしまうことはありません。計算カードや計算ドリル、ナビマなどで繰り返し練習することで、色々な計算が速く正確にできるようになります。反対に、校長先生は、文章を書くときにスマホやパソコンのアプリを使うことが多くなっています。そのせいで、自分の手で文章を書くときに覚えていたはずの漢字を忘れてしまうことが多くなってしまいました。アプリを使えば書けるのに、自分の手で書こうとすると書けないのです。



このことから、自分の手でコツコツと繰り返し練習することの大切さが分かります。なかなか漢字が覚えられない人、計算でうっかりミスをしてしまう人もいるかと思いますが、それでも、毎日少しずつでも練習することですっかりと身に付けることができると思います。秋も深まり、学習や運動にぴったりの季節です。笠原っ子の皆さんが生き生きと学習に取り組み、輝く姿を期待しています。